


|                       |  |
|-----------------------|--|
| 題材名<br>教材教具名          | 時計の勉強  |
| 教科・領域                 | 算数   |
| 考案者・製作者               | 吉田尚恵   |
| 必要な物                  |    |
| 保管場所                  | 小3組教室  |
| 内容・使い方                | <p>①児童は時計のカードを見て、短針が指している時間を言う。例:「10時」「1時」など</p> <p>②カードを見ながら、カードの表示の通りに、時計の針を合わせる。</p> <p>③できたら、「できた。」と教師に伝える。</p> <p>(①②を十分練習してから)</p> <p>③実際の時計を見ながら、時間を確認する。</p> |
| 備考<br>(教材・教具の工夫点や配慮点) | <p>・まず、普段の生活でよく使う時間を中心に学習する。国語や算数の勉強が始まる時間は10時、下校時間の2時など。</p> <p>・プリント形式で学習することもあるが、ここではカードにして、携帯できるようにした。</p>   |